

SHIRO TORI 通信

Vo.29

2020 autumn

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは
皆様に支えられ
来年で50周年
伊那谷のお花を全国へ

「信州 片桐花卉園」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafetias

営業コラム





建築 NEWS

世界的建築家の建築をタクシーで巡る！

BIGLOBEニュースによると、日本交通株式会社は、隈研吾建築都市設計事務所監修のもと、タクシーで都内の隈建築を巡る「隈研吾 建築ツアー in Tokyo」を実施するといいます。

続々と新しい建築物が誕生する首都、東京において、中でも世界的建築家・隈研吾氏は国立競技場をはじめ、美術館や駅など様々なランドマークとなる建物の設計に携わっています。このツアーでは、東京観光の専門資格を持った日本交通のEDS（エキスパート・ドライバー・サービス）@観光担当乗務員が、隈研吾建築都市設計事務所による解説をもと



に、その見どころ、デザインやエピソードを案内します。多様な隈建築、隈氏の世界観を通じて、いつもと違った角度から最新の東京を楽しむことができます。

3時間15分、2200円～申込が出来る本ツアーは、ドアtoドア、人混みを避けたプライベート空間で移動ができるタクシーの利点に加え、乗務員のマスク着用、手洗い・うがいの徹底、車内除菌清掃、窓開けによる換気など、感染症予防の対策を徹底。タクシー観光は各所を効率よく回るだけではない、ウィズコロナにおける新しい東京観光のスタイルとなっています。



長野県白馬村に誕生したスノーピーク初となる体験型複合施設。人気アウトドアブランド「スノーピーク」が「野遊びの楽しさ」や周辺地域の魅力を発信する場としてオープンしました。白馬三山からインスピレーションを得た屋根の形状を持つ建物の設計は、今回建築NEWSでも紹介した隈研吾氏。白馬の森の枝と雪の結晶がモチーフになった木の格子は建物内にも連続し、内外の境界を薄めつつ白馬の景色を建物に引き込むような印象を与えています。屋外にある「野遊びエリア」では、スノーピークと共同開発したモバイルハウス「住箱」に宿泊したり、手軽にキャンプを楽しめます。「イベントエリア」では週末マルシェを開催し地元住民と観光客との交流の場を生み出します。



建築探訪

スノーピーク ランドステーション白馬

城取設計 ニュース

キャリアフェスティバル2020

キャリアフェスティバルは市内の中学生が地域の仕事・文化・伝統・食、そして大人に出会う時間です。

秋に入り、一旦は落ち着いてきたかと思われたコロナウイルスでしたが、市内でも感染者が出てしまい、今年は急遽zoomによる完全リモート開催となりました。

出展者ごとにルームを作り、1コマ20分×6コマ時間を頂き、自身が建築を職業にするまでの経緯やそれを経て今思うこと等お話をさせて頂きました。生徒さんからは、真剣なお話からリモートだからこそ聞ける気軽なお話まで様々な質問を頂きましたが、その中でも一番印象に残っているのは『勉強は何番目に大切ですか?』という質問です。1番目、2番目のために勉強が必要だったので3番目と答えました。私は好きなこと



ために勉強をしますが、勉強をするための理由というのは、お金持ちになりたいとか、楽な暮らしがしたいといったことでも良いのだと思います。今後、選択を迫られる中で世間の印象や親の願いなど様々なことが取り巻くと思いますが、その中から自分の自由な選択をして頂きたいと思いました。

おススメ

この一冊

「夢をかなえるゾウ4ガネーシャと死神」

水野敬也(文響社)

余命3ヶ月を宣告された時、愛する家族のために選ぶのは「夢の叶え方」か「夢の手放し方」か

夢をかなえるゾウシリーズ史上最高に笑って泣ける、自己啓発エッセイ小説、第4弾！が発売されました。ウケる技術、温厚な上司の怒らせ方、人生はニヤンとかなる！等の振れ幅の大きい著作で知られる水野敬也の代表作です。今回も従来作品と同様、ガネーシャ(インドの神様)が、大変な境遇に追い込まれた主人公に、次々と課題を与えることで状況を改善させ、自己実現へと導いていきます。残り少ない人生を、自暴自棄にならずに、いかに妻子への心配を減らし、果たせなかった夢を叶えたい最期を迎えられるのか。とても読みやすい文章で、単純



水野敬也 著
定価・本体1,580円+税
発売日・2020年7月9日
形態・単行本(432ページ)

特集

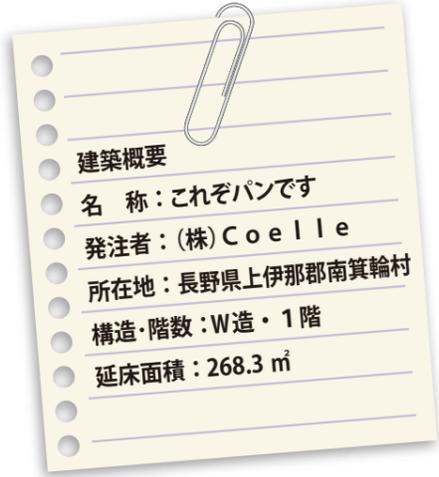
施工事例

創業58年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え
過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

どことなく
懐かしい
落ち着いた
雰囲気空間



こだわりはお客様のSNSへの投稿を見込んだインスタスポットを多く！
でした。飲食店を数店舗経営している私から普段の営業だけでなく、その先の広告宣伝も考えていくとお客様がいつい投稿したくなるような店内のデザインを希望しました。前の店舗の和の雰囲気壊し、インパクトのある犬のロゴを生かし、ロゴに合った店内の内装、いろんなパターンの客席を用意した全く新しい店に見せるデザインを創り出していただきました。ロゴをモチーフにプリントで壁紙をつくり、ふすまに貼って店内の統一感を出しています。

高級食パン専門店であることから、

食パンを風通し良く陳列し、包材をしまうためのたくさん収納スペースも考えたカウンター、シヨップカードを並べるためにニッチを生かした棚や展示物を掲示する壁など細部にわたり使い勝手がよく仕上がっています。
狙い通り、多くのお客様がSNSへ店内外のいたるところで写真を撮り投稿してくださる毎日です。
なにより店の外観にある大きな犬のロゴと店名で何の店かがハッキリわかる場所に満足しており施工主の気持ちも十分にくみ取ったデザインをしていただきました。

株式会社Coelle / 城取ゆりか

①素材感を生かした内装

②飲食店としての機能もしっかりとれている

③他にはないエイジング塗装

和風のからあげ屋さんだったお店を、洋風な味のあるカフェにするのには、いくつかのポイントがありました。長年続いているパン屋さんのような雰囲気の空間づくりには、素材感を生かすも、エイジング塗装やモルタル造形を加えました。限られた予算の中できれいに貼りなおしたクロスの上に、さらにエイジング加工もしました。飲食店の計画をするのに弊社ではまず厨房から固めます。厨房器具メーカー



外観

ーや施主やパン職人と何度も何度もディスカッションし、これだっ！という厨房のプランが生まれます。そこから動線を検討し、スタッフ、お客様、業者の目線で動線を引き直します。そして、全体像が見えたところで『色気』を付けていきます。企業秘密が多いので多くは語れませんが、細かい部分で天井に厚手の断熱ボードを貼り、それを焦げたトーストに見えるようなエイジング塗装もしました。
全体として今までありそうでなかったベーカリーカフェが完成しました。

株式会社フリークラウド / 熊原真二



販売カウンター



ホール席

高級食パン専門店
これぞパンです
This is a "PAN"!!



長野県上伊那郡
南箕輪村 298-5
TEL.0265-97-1376
OPEN 11:00 ~ 18:00
※パンがなくなり次第終了
定休日 不定休

出張販売のお知らせ

今年はコロナの影響もあり各種イベントもめっきり減ってはいますが、この秋から少しずつではありますがイベントも増えてきたようです。そんな中最近になって多いのが、催しごとがあるので来場者へ食パンをプレゼントしたいという要望です。ゴルフの景品や、社内イベントでのプレゼント、展示会での景品などご利用くださっています。

希望の方はお店まで問合せください！



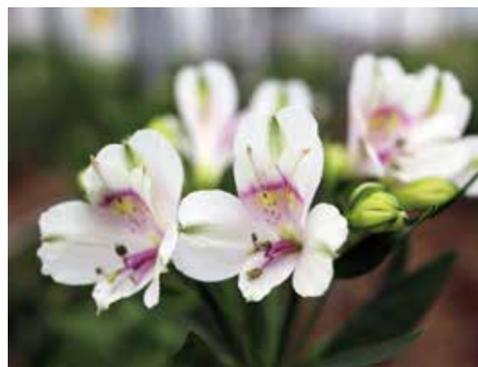
この街の企業

実録

地元のチカラ

我々の住む伊那谷は、寒暖差が大きいことや、日照時間が長いことなどから、全国的にも有名な花の栽培が盛んな地域です。

特に、『アルストロメリア』は全国の約3分の1の生産量を誇り、全国一の産地となっています。そのアルストロメリアを伊那谷で初めて育てたのが『信州片桐花卉園



』。稲作や果樹栽培など、農業を長年行ってきた片桐家の新たな挑戦が花の栽培でした。リンドウや鉄砲ユリを育てながら新たな品種を探していたところ、千葉の農家で出会ったのが『アルストロメリア』でした。約40年前の事になります。

初めは育てている農家も全国で数件と少なく四苦八苦でしたが、試行錯誤を重ねて栽培方法を確立してきました。その後は上伊那中に生産者が増え、年間を通して出荷する事が出来るまでになりました。

現在は、信州片桐花卉園オリジナルや限定生産のアルストロメリアや草花を関東や関西を中心に出荷しています。CMやドラマ、雑誌等で使われることも多くあると

皆様に支えられ来年で50周年 伊那谷のお花を全国へ

信州 片桐花卉園
(株) えんどれすどりーむ
(飯島町)



また、今年7月から新たな挑戦に踏み切りました。それは、採れたて新鮮なお花を産地から直接、消費者に届けるお花屋さん『添える』の開店です。新型コロナウイルスの影響で花業界も大きな影響を受けました。その中で、今後どうすべきなのかと考えたとき、今やるべき事としてお花屋さんへの挑戦に踏み切ったといえます。まだまだ試行錯誤の連続だといいますが伊那谷はもとより、全国各地からのご注文にこたえています。

「今後は、伊那谷の素晴らしい商品に当社のお花を添えて贈るなど商品展開も拡大していきたい」と語る片桐さん。これからの展開が楽しみです。

農業で地域を支えたい

片桐さんは10年間社会人生活を送り、8年前にUターンで戻ってきました。それからは、お花を使用したイベントや子供たちとの農業体験など、農業を通して多くの方々と関わってきたそうです。

今後も、農業で地域を元気にできるよう、様々なイベントを行っていく予定です。

添える by Katagiri Kakien
~中央アルプスの麓から、採れたて新鮮のお花をお届けします~
Mail:hanasowe1@gmail.com
https://sowel.shop-pro.jp/
Instagram@sowel_by_katagirikakien



農家の横顔
片桐裕幾氏

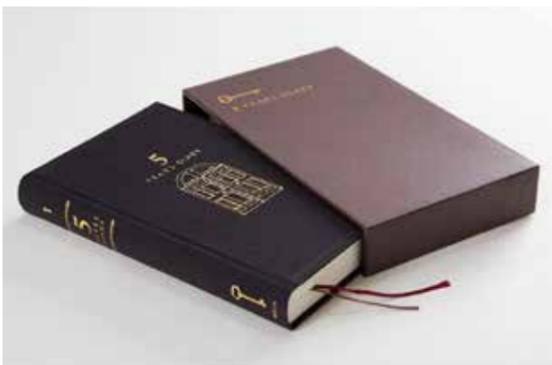
営業コラム



先日、尊敬する経営者の方からプレゼントをいただきました。「5年連用日記」という日記帳！
生まれて46年間、日記は学生時代の宿題以外トライしたこともなく、また性格上コツコツ継続することが苦手なため興味もありませんでした。しかし今回の「5年連用日記」は書くのも4行ということでも自分にも継続可能と判断、今のところ、継続して書いています。

今書いているのも楽しくなってくる気がします。1日分のスペースが小さめなので、気軽に書いて継続しやすいのが特徴です。興味ある人は調べるといろんな種類の日記があるのでトライしてみてください！

この「5年連用日記」少し紹介すると、毎年、同じ日の記録が1ページに積み重なっていく連用日記となっていて、1年前の今日、何をしていたんだろう？3年前は？続けていくほど楽しさが増していきますそうな日記となっています。確かに、5年前こんなことしてたとか、こんなこと考えていたのかとか、振り返ることが出来る



時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取組みます

事前打ち合わせ 設計業務 監理業務

費用は掛かりません



株式会社 城取建築設計事務所

- 創立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資本金：1000万円
- 登録：(伊那) L第2Y051号
- 取引銀行：八十二銀行 伊那支店
アルプス中央信用金庫 本店
- 所属団体：(社) 長野県建築士事務所協会
(社) 長野県建築士会

■ 事業内容

- ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
- ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
- ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■ 本社

長野県伊那市西町 5863-1
 TEL：0265-72-7271
 FAX：0265-72-7270

